

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	128	魅力ある商店街づくり支援					
章	4	にぎわいと魅力あふれるまち					
大項目	03	魅力ある地域商店街づくり					
施策	02	魅力ある買物空間づくり					
事業内容							
目的	商店会が実施する施設整備事業、IT活用事業など魅力ある商店街づくり事業を支援します。						
対象・手段	区内商店会が実施する商店街内の施設整備（街路灯建替等）、地域・コミュニティ事業等に対して補助金を助成します。 （補助率：補助対象経費の2/3、補助限度額：2,000万円）						
成果（事業が意図する成果）							
商店街の環境整備などを支援することにより、人が集まり交流する、安全安心な楽しい買物の場として商店街の活性化が図られます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
補助事業実施数	当初予定された交付申請事業数からみた商店会が実施した事業数	（ 毎 ） 年度に （ 申請予定件数 ） の水準達成					
補助事業実施効果度	商店会に対するアンケートで、「期待したどおりの効果があった」及び「まあまあ効果があった」と回答を得た事業の割合	（ 毎 ） 年度に （ 100% ） の水準達成					
		（ ） 年度に （ ） の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値 1	件	8.00	10.00	5.00	5.00	平成19年度から目標値を事業実施度に変更
	実績 1	件	8.00	10.00	5.00	9.00	
	= /	%	100.00	100.00	100.00	180.00	
	目標値 2	%	0.00	100.00	100.00	100.00	アンケートは、平成17年度から実施
	実績 2	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	= /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	事業補助金の支給：実績件数 5 件						
平成19年度	事業補助金の支給：実績件数 9 件						

部名称		地域文化部			課名称		産業振興課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	60,996	84,992	53,406	53,790		
	人件費	千円	0	0	19,240	19,181		
	事務費	千円	46	50	59	24		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	61,042	85,042	72,705	72,995		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	61,042	85,042	72,705	72,995		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	30,544	42,546	46,002	46,100		
	特定財源		30,498	42,496	26,703	26,895		
	一般財源投入率 /	%	50.04	50.03	63.27	63.16		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	2.00	2.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	1.00	1.00		
事業に関する検討課題								
<p>商店街の施設整備等は多額の経費を要するものが多く、商店会にとっては負担が大きいことから、商店会サポート事業との連携等により、施設整備等の必要性が高い商店会に対して、支援事業が適切に活用されるよう促していく必要があります。</p> <p>また、消費者ニーズの変化をふまえたシステムや環境や高齢化対策などの地域社会の変化に対応した施設を整備していく必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	平成19年度は、審査会を経て決定した事業が9件あり、全ての事業について予定通り100%実施されています。					
	実施の成果	3	意欲ある商店会等は、本事業を活用し大きな成果をあげています。「事業効果アンケート」で、実施した商店会（9商店会・9件）全てが、『期待どおりの効果が得られた』と回答し、効果があったと言えます。					
	効率性	3	東京都の補助事業と連携し、区が商店会の自主的な施設整備などに支援することで効率化を図っています。					
	行政の関与	3	事業対象には、商店街の老朽化した施設の整備もあり、安心安全な商店街づくりに向け、区の関与の必要性は高いと考えます。					
	妥当性	2	現在は、商店街の施設整備支援が中心となっており、いずれも多額の経費がかかります。安心・安全で魅力ある商店街づくりの促進を図る事業を区が支援し、事業の実施件数及び効果度を目標達成の指標としたことは適正であると言えます。					
	施策寄与度	3	この3年間で、安心・安全で魅力ある商店街づくりに必要不可欠な商店街の施設整備事業等にかかる経費を区が支援することで、商店会の主体的・積極的な事業への取組みを促すことにつながり、施策目的達成に大いに寄与していると言えます。					
総合評価	19年度の評価はBです。その理由は、19年度の施設整備事業において、当初の申請予定数を上回る事業数を計画どおり全て実施することができ、快適な買物環境整備を図る支援事業として、一定の成果を得られたと考えられるからです。						B	
	また過去3年間の評価もBです。その理由は、いずれの年度においても新規の設備・老朽化による改修を含め、多くの商店街の要望に応えることができ、アンケートによれば商店街の満足度も高く、効果の高い事業と評価することができるからです。						過年度評価	
これらの事業には多額の経費を要するものが多く、商店会独自で全額負担することは困難であり、行政の支援が不可欠です。						18年度 B		
						17年度 B		
						16年度 A		
						15年度		
						方向性		
改革方針	これからも安心安全な「魅力ある商店街づくり」とともに、時代の変化に合わせたIT化事業の促進や電子マネーの普及など、商店街の施設整備等に対し、適切な支援を行っていく必要があります。						5	
	今後は、第一次実行計画「84商店街活性化支援」に引継ぎ、さらに魅力ある快適な商店街づくりを進めていきます。						統合	